

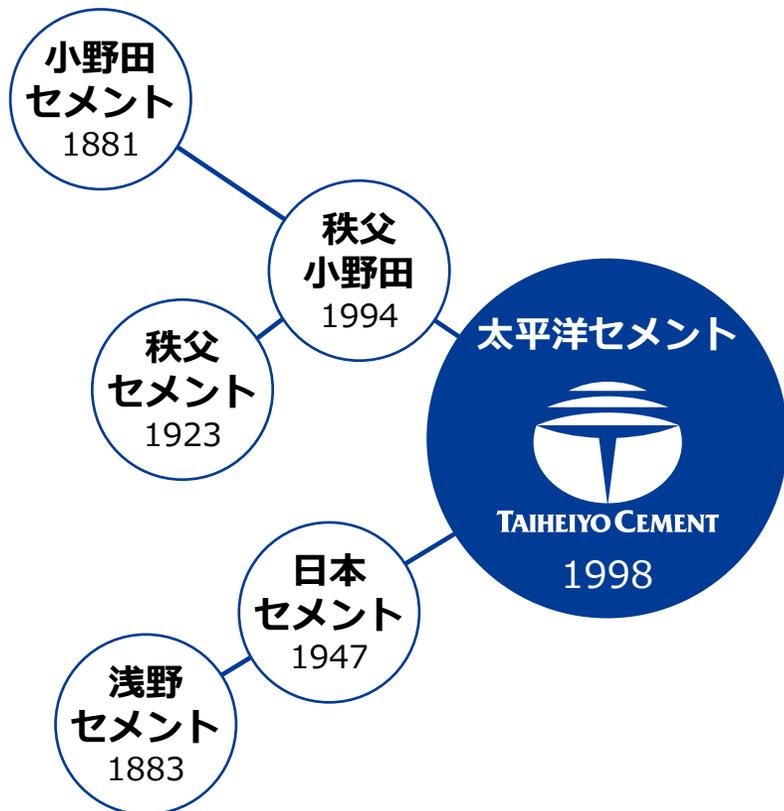


# 2023年度決算説明資料

---

2024年5月14日

太平洋セメント株式会社



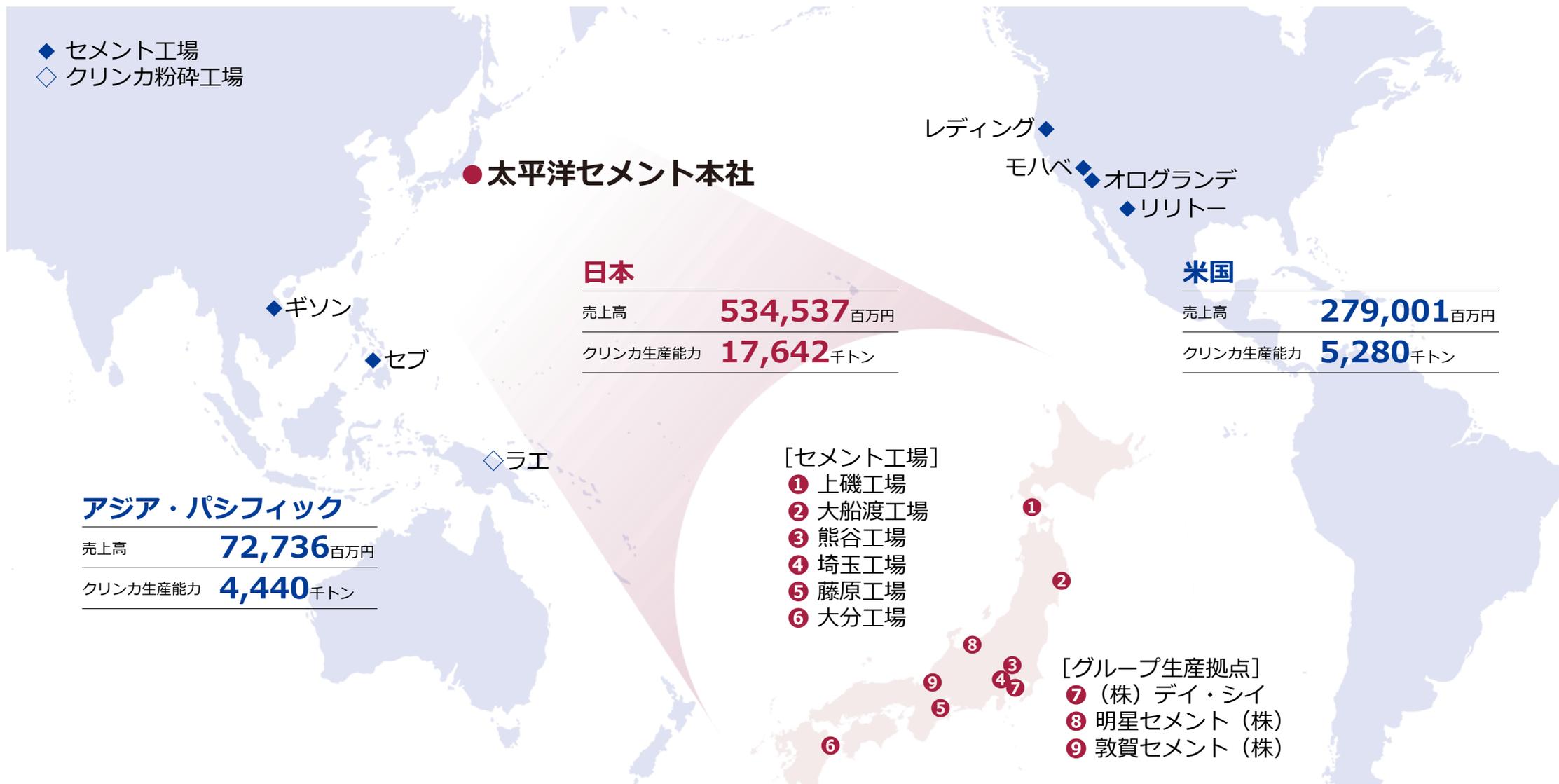
## グループ経営理念

太平洋セメントグループは、  
持続可能な地球の未来を拓く先導役をめざし、  
経済の発展のみならず、  
環境への配慮、社会への貢献とも調和した事業活動を行います。

設立	1881年5月3日
資本金	86,174百万円
本社所在地	〒112-8503 東京都文京区小石川1-1-1 文京ガーデンゲートタワー
従業員数	連結：12,540名 単体：1,821名（出向含まず）
子会社	200社（うち連結子会社 129社、持分法適用非連結子会社 4社）
関連会社	103社（うち持分法適用関連会社 38社）

（2024年3月31日現在）

# 進出地域



(2024年3月31日現在)

<b>1. 連結決算ハイライト</b>	<b>P.5</b>	<b>4. 株主還元</b>	<b>P.23</b>
<b>2. 2023年度 実績</b>	<b>P.8</b>	<b>Appendix (参考資料)</b>	<b>P.25</b>
(1) セグメント情報	P.9		
(2) 連結損益計算書	P.14		
(3) 連結貸借対照表	P.15		
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P.16		
<b>3. 2024年度業績予想</b>	<b>P.17</b>		
(1) 連結損益計算書	P.19		
(2) セグメント情報	P.20		

---

# 1. 連結決算ハイライト

# 1. 連結決算ハイライト

## 《決算サマリ》

- 国内セメント販売価格値上浸透、米国子会社好調、国内各事業の値上浸透を受け、対前  
年増収増益
- 配当は、予定通り70円/株を実施予定

(単位：百万円)

	2022年度	2023年度	増減
売上高	809,542	<b>886,275</b>	+76,733
営業利益	4,456	<b>56,470</b>	+52,013
経常利益	1,015	<b>59,472</b>	+58,457
親会社株主に帰属する当期純利益	▲33,206	<b>43,272</b>	+76,479
1株当たり配当（円/株）	70	<b>70</b>	-

# 1. 連結決算ハイライト

## 《主な指標》

	2022年度	2023年度	増減
売上高営業利益率 (%)	0.6	<b>6.4</b>	+5.8
1株当たり当期純利益 (円)	▲283.7	<b>371.1</b>	+654.8
1株当たり純資産 (円)	4,228.5	<b>4,872.9</b>	+644.5
ROE (自己資本当期純利益率) (%)	▲6.6	<b>8.2</b>	+14.8
自己資本比率 (%)	39.0	<b>42.1</b>	+3.1
ネットDEレシオ (倍)	0.65	<b>0.52</b>	▲0.14

## 《環境要因》

	2022年度	2023年度	増減
為替平均レート (円/\$)	131.6	<b>140.7</b>	+9.0
国内輸入石炭等調達価格 (C&F \$/t)	340	<b>210</b>	▲130

---

## 2. 2023年度実績

## 2. 2023年度実績

### (1) セグメント情報

(単位：百万円)

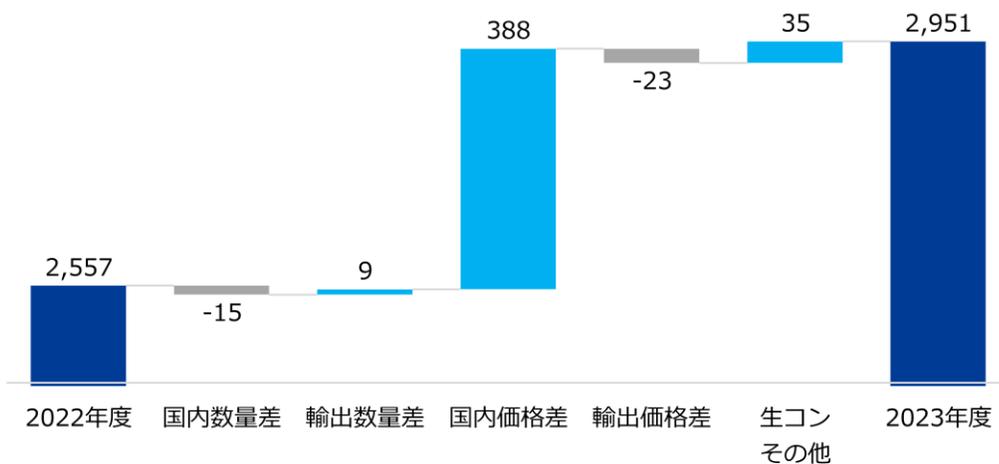
		売上高			営業利益		
		2022年度	2023年度	増減	2022年度	2023年度	増減
セメント	国内	255,740	<b>295,169</b>	+39,429	▲36,918	<b>▲1,408</b>	+35,509
	海外子会社等	297,301	<b>334,700</b>	+37,399	22,019	<b>34,191</b>	+12,172
	計	553,041	<b>629,870</b>	+76,828	▲14,898	<b>32,783</b>	+47,682
資源		82,706	<b>87,674</b>	+4,968	5,556	<b>8,455</b>	+2,899
環境		77,911	<b>68,254</b>	▲9,656	5,871	<b>6,138</b>	+266
建材・建築土木		68,270	<b>73,456</b>	+5,185	2,351	<b>4,208</b>	+1,856
その他		86,926	<b>89,397</b>	+2,471	5,108	<b>4,691</b>	▲417
計		868,855	<b>948,653</b>	+79,797	3,989	<b>56,276</b>	+52,286
内部消去		▲59,313	<b>▲62,378</b>	▲3,064	466	<b>193</b>	▲273
連結		809,542	<b>886,275</b>	+76,733	4,456	<b>56,470</b>	+52,013

## 2. 2023年度実績

### ①セメント国内

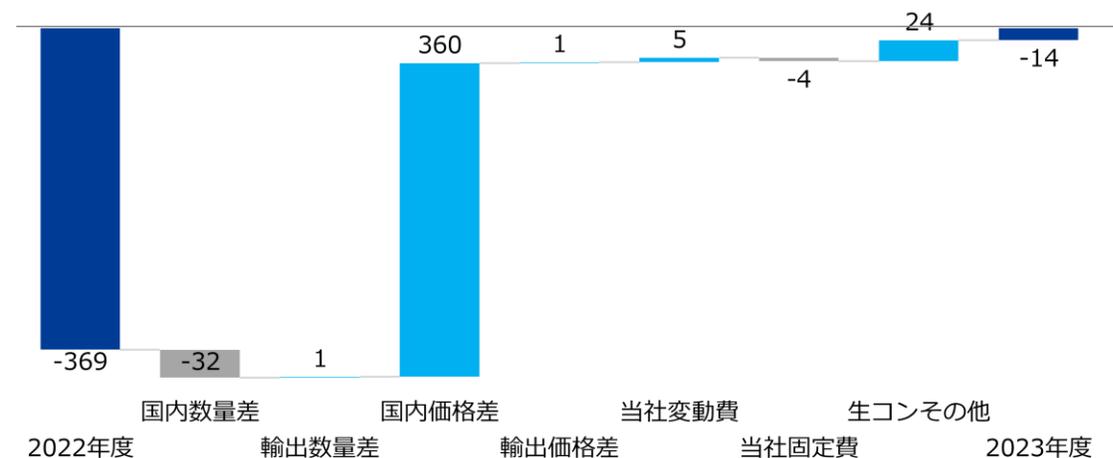
	2022年度	2023年度	増減
販売数量 (千t)			
国内	13,129	<b>12,950</b>	▲179
輸出	2,438	<b>2,552</b>	+114
売上高 (百万円)	255,740	<b>295,169</b>	+39,429
営業利益 (百万円)	▲36,918	<b>▲1,408</b>	+35,509

#### 売上高 (億円)



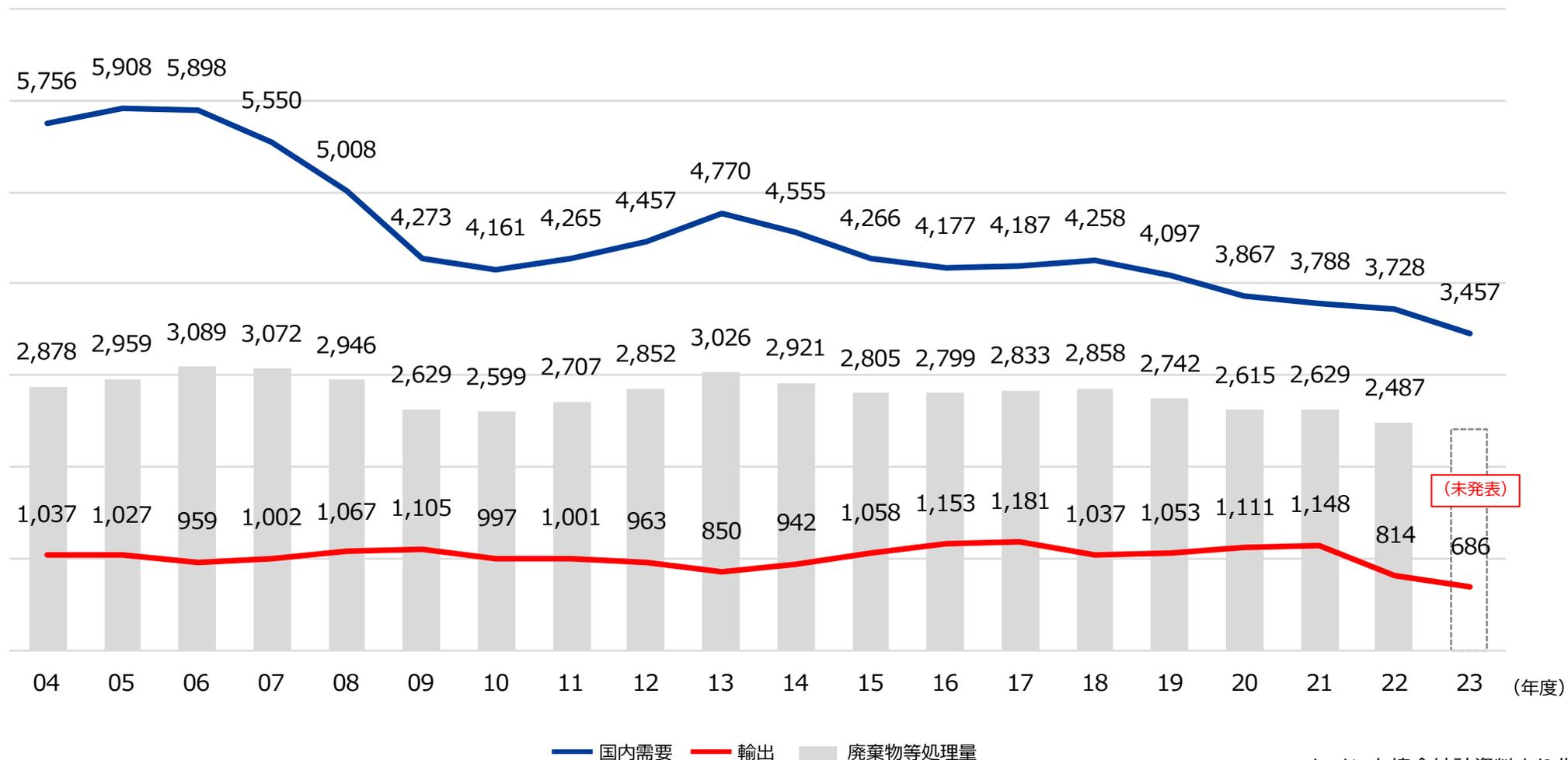
- 国内需要の減少により、セメント・固化材の販売数量減
- 一方、セメント・固化材の販売価格の値上げ浸透により、営業損失が改善

#### 営業利益 (億円)



# 《参考》セメント国内需要・輸出数量・廃棄物等処理量

## セメント国内需要・輸出数量・廃棄物等処理量（万t）



セメント協会統計資料より作成

## 2. 2023年度実績

### ②海外子会社等

	2022年度	2023年度	増減 (うち、為替)
売上高 (百万円)	297,301	<b>334,700</b>	+37,399 (+20,685)
営業利益 (百万円)	22,019	<b>34,191</b>	+12,172 (+2,333)

- 米国が引き続き好調、東南アジアの厳しい状況をカバーし、増収増益

### 《米国》

	2022年度	2023年度	増減
セメント (千t)	6,693	<b>6,825</b>	+132
生コン (千cy)	5,596	<b>6,101</b>	+505
売上高 (億円)	2,310	<b>2,840</b>	+530
(百万\$)	(1,755)	(2,019)	(+263)
営業利益 (億円)	259	<b>390</b>	+130
(百万\$)	(197)	(277)	(+80)

- 全米需要は、高金利による住宅需要減速等があり、前期比2.5%減
- 第1四半期の悪天候影響はあったが、値上げ浸透や買収効果（2022年7月買収に伴う通年効果）等により増収増益

## 2. 2023年度実績

### ③資源、環境事業、建材・建築土木、その他

(単位：百万円)

		2022年度	2023年度	増減	主要な増減内容 (純増減)
資源	売上高	82,706	<b>87,674</b>	+4,968	北海道・関西地区における骨材の販売数量増、各種コストアップの销售价格への転嫁が浸透
	営業利益	5,556	<b>8,455</b>	+2,899	
環境	売上高	77,911	<b>68,254</b>	▲9,656	燃料販売の減少
	営業利益	5,871	<b>6,138</b>	+266	排脱タンカル販売及び石膏販売が堅調に推移
建材・ 建築土木	売上高	68,270	<b>73,456</b>	+5,185	地盤改良工事とシールドトンネル工事関連事業の好調に加え、ALC（軽量気泡コンクリート）と建築・土木材料の销售价格の適正化
	営業利益	2,351	<b>4,208</b>	+1,856	
その他	売上高	86,926	<b>89,397</b>	+2,471	
	営業利益	5,108	<b>4,691</b>	▲417	

## 2. 2023年度実績

### (2) 連結損益計算書

(単位：百万円)

	2022年度	2023年度	前期比
売上高	809,542	<b>886,275</b>	+76,733
営業利益	4,456	<b>56,470</b>	+52,013
営業外損益	▲3,440	<b>3,002</b>	+6,443
経常利益	1,015	<b>59,472</b>	+58,457
特別損益	▲17,382	<b>▲1,438</b>	+15,944
税金等調整前当期純利益	▲16,366	<b>58,034</b>	+74,401
法人税等	17,872	<b>14,358</b>	▲3,513
非支配株主に帰属する当期純利益	▲1,032	<b>403</b>	+1,435
親会社株主に帰属する当期純利益	▲33,206	<b>43,272</b>	+76,479

## 2. 2023年度実績

### (3) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

		2023年 3月末	2024年 3月末	増減			2023年 3月末	2024年 3月末	増減	
流動資産	現金及び預金	79,842	<b>80,101</b>	+259	負債	流動負債	385,784	<b>368,103</b>	▲17,680	
	受取手形、売掛金及び契約資産	182,963	<b>206,584</b>	+23,620		固定負債	354,221	<b>373,762</b>	+19,541	
	棚卸資産	138,373	<b>123,177</b>	▲15,195		<b>負債合計</b>		740,005	<b>741,866</b>	+1,861
	その他	29,228	<b>20,425</b>	▲8,803	純資産	株主資本	資本金	86,174	<b>86,174</b>	-
<b>流動資産 計</b>		430,408	<b>430,289</b>	▲118			資本剰余金	49,729	<b>50,051</b>	+322
固定資産	有形固定資産	620,083	<b>653,910</b>	+33,827			利益剰余金	342,880	<b>379,125</b>	+36,245
	無形固定資産	39,766	<b>39,083</b>	▲683			自己株式	▲13,738	<b>▲17,942</b>	▲4,204
	投資その他の資産	178,604	<b>214,967</b>	+36,363		<b>株主資本合計</b>		465,045	<b>497,409</b>	+32,363
<b>固定資産 計</b>		838,454	<b>907,961</b>	+69,507		その他の包括利益累計額	29,911	<b>65,801</b>	+35,890	
<b>資産合計</b>		1,268,862	<b>1,338,251</b>	+69,388		非支配株主持分	33,899	<b>33,174</b>	▲725	
					<b>純資産合計</b>		528,857	<b>596,384</b>	+67,527	
					<b>負債純資産合計</b>		1,268,862	<b>1,338,251</b>	+69,388	

	2022年 12月末	2023年 12月末	増減
(為替) 期末レート (円/\$)	132.7	<b>141.8</b>	+9.1

	2023年 3月末	2024年 3月末	増減
有利子負債 (百万円)	403,485	<b>370,469</b>	▲33,016

## 2. 2023年度実績

### (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2022年度	2023年度	増減
営業キャッシュ・フロー	▲268	<b>140,543</b>	+140,812
投資キャッシュ・フロー	▲93,344	<b>▲82,138</b>	+11,206
財務キャッシュ・フロー	112,080	<b>▲59,476</b>	▲171,556
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,048	<b>1,350</b>	▲697
現金増減	20,515	<b>278</b>	▲20,236
その他	99	<b>39</b>	▲59
現金期首残高	50,213	<b>70,828</b>	+20,614
現金期末残高	70,828	<b>71,146</b>	+318

---

## 3. 2024年度 業績予想

### 3. 2024年度 業績予想

#### 《前提条件》

- 2024年度業績予想の前提は以下の通り

	2023年度実績	2024年度予想	増減
セメント国内需要 (万t)	3,457	<b>3,500</b>	+43
国内輸入石炭等平均調達価格 (C&F \$/t)	210	<b>165</b>	▲45
為替平均レート (円/\$)	140.7	<b>145.0</b>	+4.3

(感応度 営業利益影響額：為替が1円円安で+1.0億円)

#### 《業績予想サマリ》

- 対前期比増収増益を見込む
- 国内セメント事業は、輸入石炭等価格改善で営業利益増の見込み
- 米国好調で海外子会社等は増益見込み
- 減価償却方法変更（定率法→定額法）に伴い、減価償却費減少78億円

### 3. 2024年度 業績予想

#### (1) 連結損益計算書

(単位：億円)

	2023年度実績	2024年度予想	増減
売上高	8,862	<b>9,600</b>	+738
営業利益	564	<b>840</b>	+276
営業外損益	30	<b>▲5</b>	<b>▲35</b>
経常利益	594	<b>835</b>	+241
特別損益	<b>▲14</b>	<b>▲5</b>	+9
税金等調整前当期純利益	580	<b>830</b>	+250
法人税等	143	<b>190</b>	+47
非支配株主に帰属する当期純利益	4	<b>20</b>	+16
親会社株主に帰属する当期純利益	432	<b>620</b>	+188

### 3. 2024年度 業績予想

#### (2) セグメント情報

(単位：億円)

		売上高			営業利益		
		2023年度 実績	2024年度 予想	増減	2023年度 実績	2024年度 予想	増減
セメント	国内	2,951	<b>3,140</b>	+189	▲14	<b>150</b>	+164
	海外子会社等	3,347	<b>3,660</b>	+313	341	<b>425</b>	+84
	計	6,298	<b>6,800</b>	+502	327	<b>575</b>	+248
資源		876	<b>960</b>	+84	84	<b>100</b>	+16
環境		682	<b>750</b>	+68	61	<b>61</b>	-
建材・建築土木		734	<b>810</b>	+76	42	<b>50</b>	+8
その他		893	<b>950</b>	+57	46	<b>55</b>	+9
計		9,486	<b>10,270</b>	+784	562	<b>841</b>	+279
内部消去		▲623	<b>▲670</b>	▲47	1	<b>▲1</b>	▲2
連結		8,862	<b>9,600</b>	+738	564	<b>840</b>	+276

※減価償却方法変更（定率法→定額法）に伴う減価償却費減少額

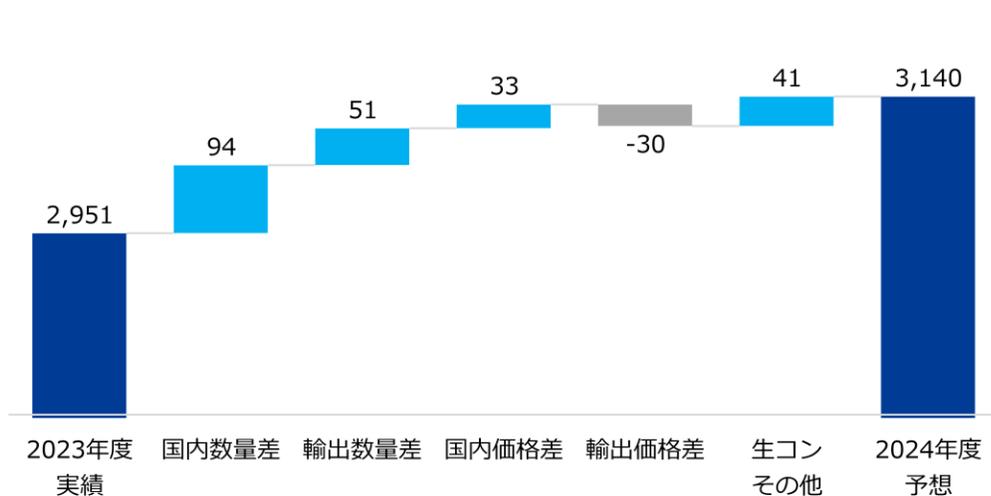
セメント国内49億円、資源11億円、環境3億円、建材・建築土木3億円、その他10億円

### 3. 2024年度 業績予想

#### ①セメント国内

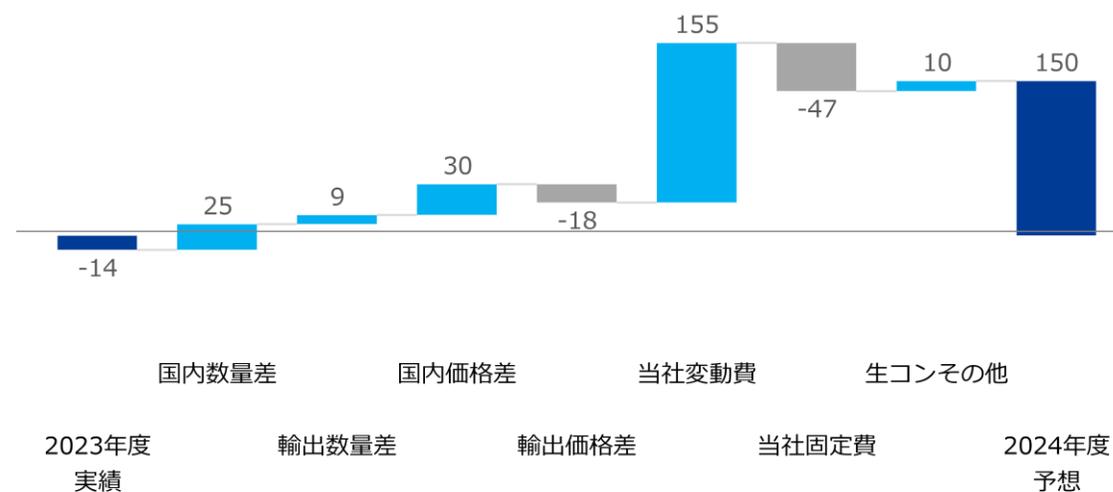
	2023年度実績	2024年度予想	増減
販売数量 (千t)			
国内	12,950	<b>13,300</b>	+350
輸出	2,552	<b>3,300</b>	+748
売上高 (億円)	2,951	<b>3,140</b>	+189
営業利益 (億円)	▲14	<b>150</b>	+164

売上高 (億円)



- 国内需要の微増により、セメント・固化材の販売数量増
- 石炭等の価格改善により、営業利益増を見込む

営業利益 (億円)



### 3. 2024年度 業績予想

#### ②海外子会社等

	2023年度 実績	2024年度 予想	増減 (うち、為替)
売上高 (億円)	3,347	<b>3,660</b>	+313 (+101)
営業利益 (億円)	341	<b>425</b>	+84 (+13)

- 米国、アジア他ともに増収増益を見込む
- フィリピン新プラントは、2024年7月商業生産開始予定

#### 《米国》

	2023年度 実績	2024年度 予想	増減
セメント (千t)	6,825	<b>6,875</b>	+49
生コン (千cy)	6,101	<b>6,080</b>	▲21
売上高 (億円)	2,840	<b>3,008</b>	+167
(百万\$)	(2,019)	(2,074)	(+54)
営業利益 (億円)	390	<b>418</b>	+28
(百万\$)	(277)	(288)	(+11)

- 全米需要は、民間需要の減速は予想されるが、インフラ投資等が下支えし、前期比1.0%程度増の見込み
- 販売数量は前期並みを見込むが、値上げやコスト削減等に取り組み増収増益を見込む

---

## 4. 株主還元

## 4. 株主還元

- 2023年度は、予定通り70円/株（中間配当35円/株含む）実施予定
- 2024年度は、10円増の80円/株（中間配当40円/株含む）を計画

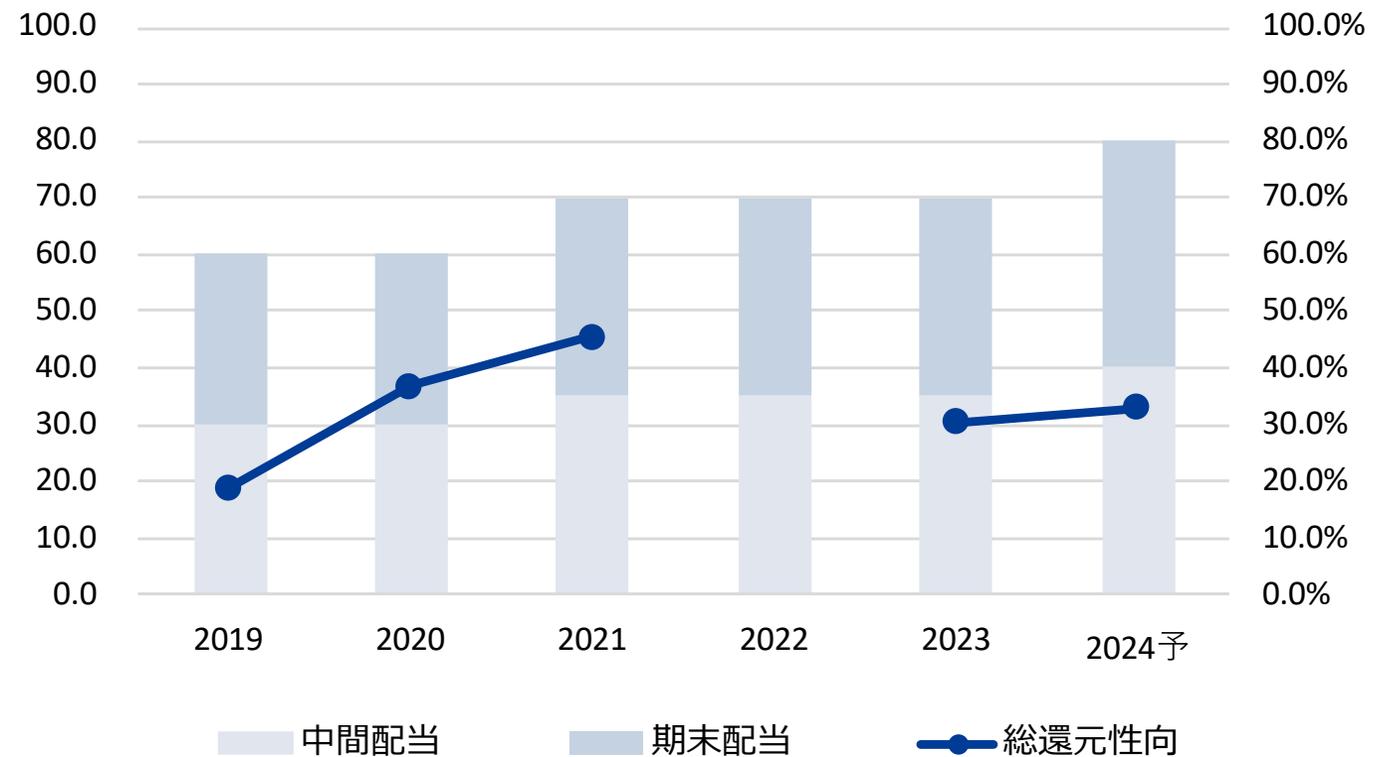
### 《株主還元方針》

総還元性向 33%以上

安定配当の継続

1株当たりの配当額 80円以上

機動的な自己株式の取得



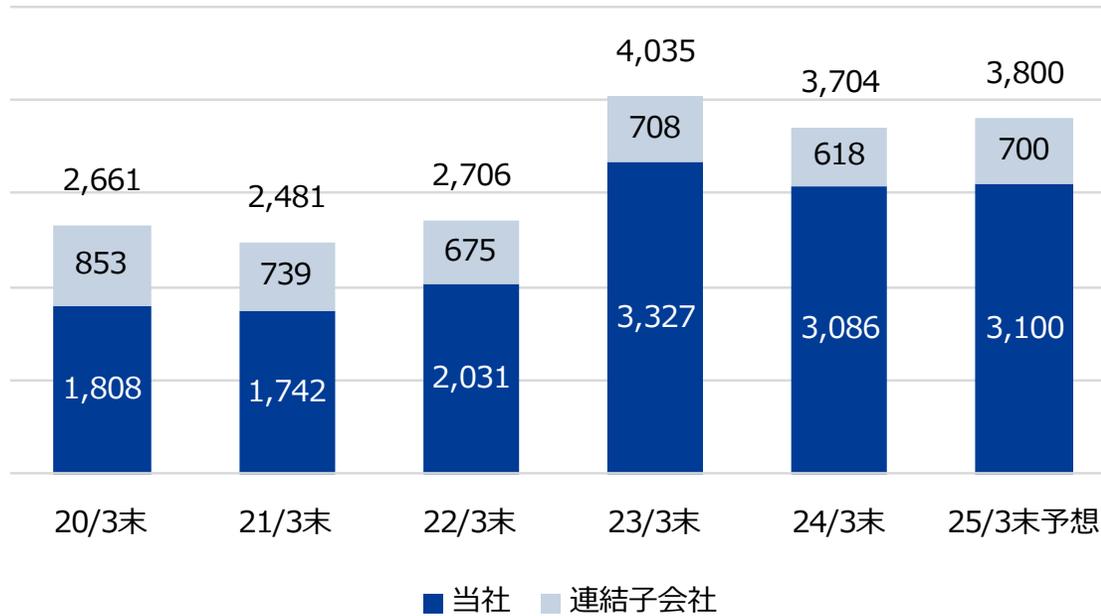
---

# Appendix (参考資料)

# 推移データ

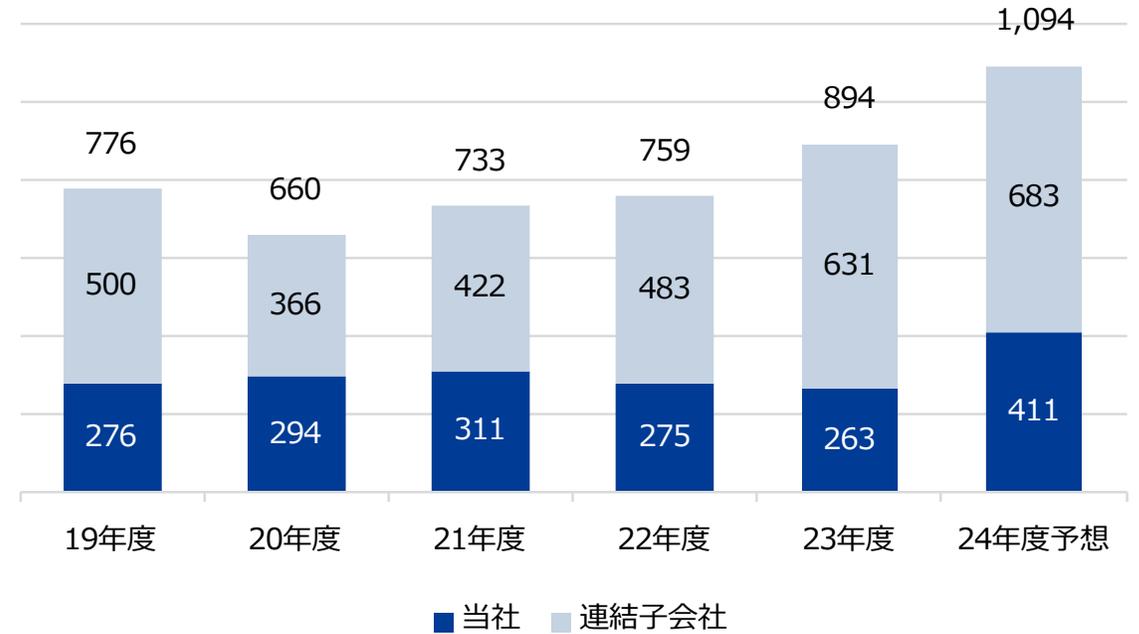
## (1) 有利子負債

(単位：億円)



## (2) 設備投資

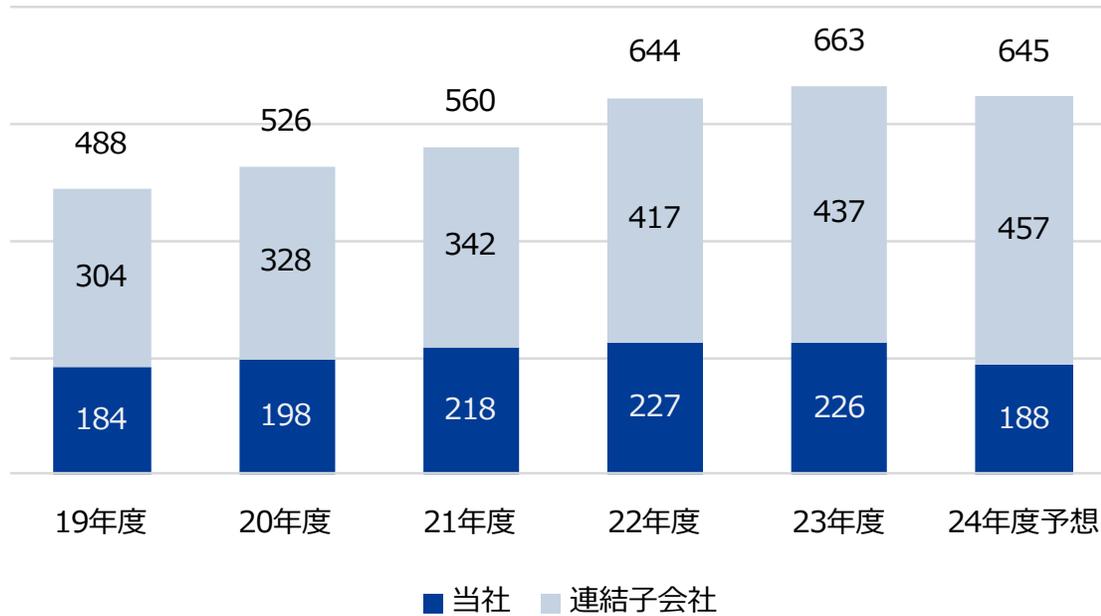
(単位：億円)



# 推移データ

## (3) 減価償却費

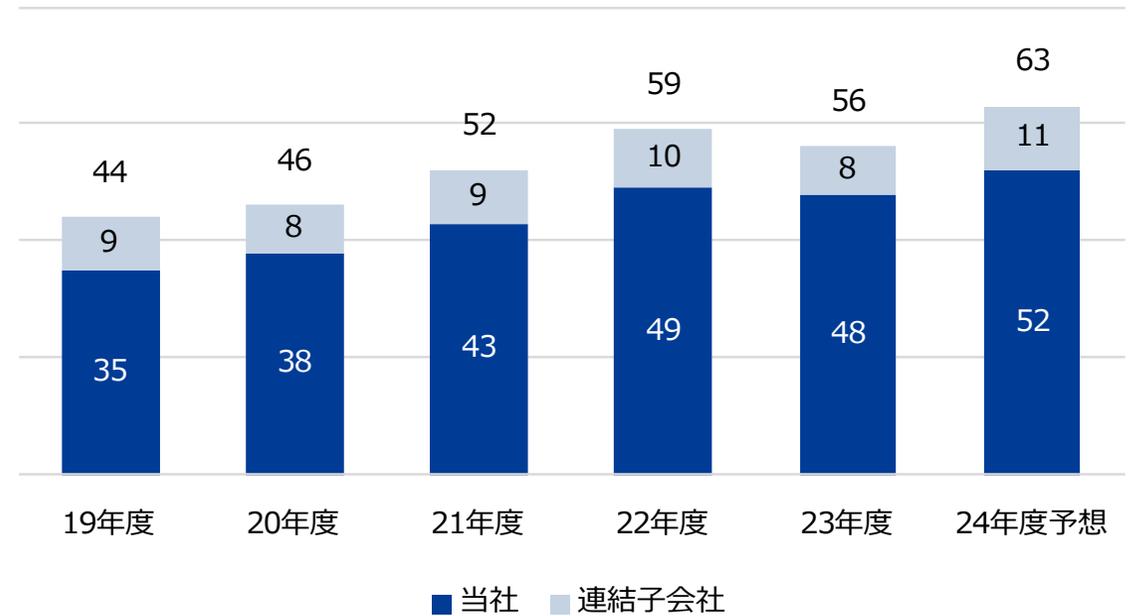
(単位：億円)



※2024年度より償却方法変更（定率法→定額法）

## (4) 研究開発費

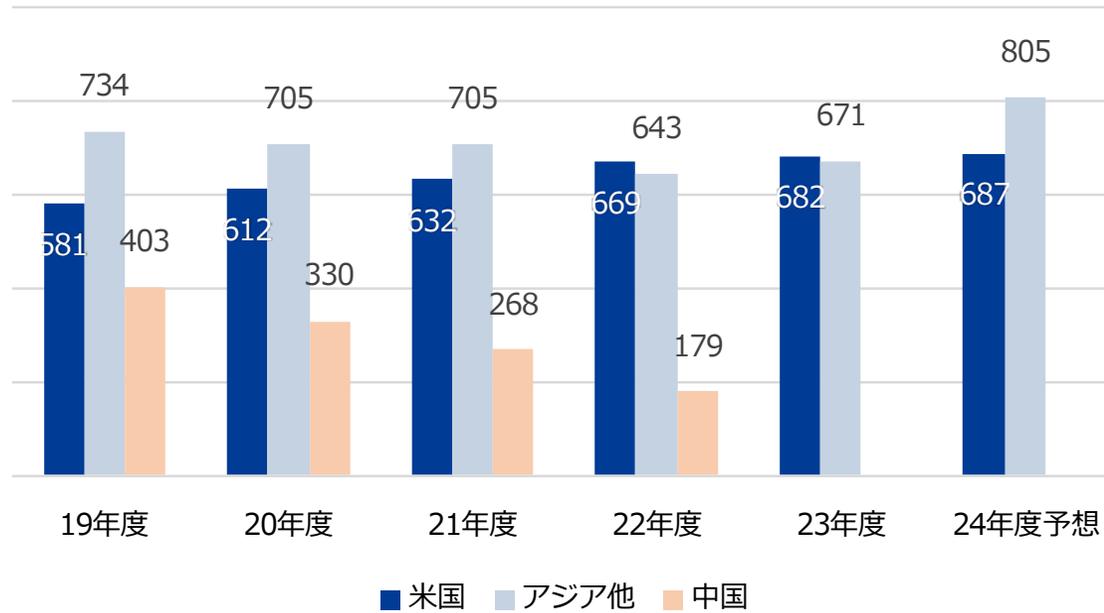
(単位：億円)



# 推移データ

## (5) 海外子会社セメント販売数量 (連結子会社単純合算)

(単位：万t)



## (6) 米国事業

売上高

(単位：百万US\$)



営業利益

(単位：百万US\$)



# 2024年度 第2四半期 業績予想

## (1) 連結損益計算書

(単位：億円)

	2023年度 第2四半期実績	2024年度 第2四半期予想	増減
売上高	4,185	<b>4,640</b>	+455
営業利益	177	<b>345</b>	+168
経常利益	201	<b>345</b>	+144
親会社株主に帰属する当期純利益	136	<b>265</b>	+129

※減価償却方法変更（定率法→定額法）に伴う減価償却費減少額33億円

# 2024年度 第2四半期 業績予想

## (2) セグメント情報

(単位：億円)

		売上高			営業利益		
		2023年度 第2四半期 実績	2024年度 第2四半期 予想	増減	2023年度 第2四半期 実績	2024年度 第2四半期 予想	増減
セメント	国内	1,442	<b>1,570</b>	+128	▲60	<b>42</b>	+102
	海外子会社等	1,541	<b>1,770</b>	+229	139	<b>200</b>	+61
	計	2,983	<b>3,340</b>	+357	78	<b>242</b>	+164
資源		429	<b>470</b>	+41	40	<b>46</b>	+6
環境		325	<b>360</b>	+35	30	<b>28</b>	▲2
建材・建築土木		341	<b>370</b>	+29	18	<b>16</b>	▲2
その他		403	<b>430</b>	+27	9	<b>13</b>	+4
計		4,483	<b>4,970</b>	+487	178	<b>345</b>	+167
内部消去		▲297	<b>▲330</b>	▲33	▲0	<b>▲0</b>	-
連結		4,185	<b>4,640</b>	+455	177	<b>345</b>	+168

※減価償却方法変更（定率法→定額法）に伴う減価償却費減少額  
セメント国内21億円、資源4億円、環境1億円、建材・建築土木1億円、その他4億円

# 循環経済形成のキープレイヤー

当社グループは、カーボンニュートラルへの着実な移行を進めながら、国土強靱化のための重要資材のサプライヤーとして、また、循環経済形成のキープレイヤーとしての役割を果たしています。

現在、わが国のセメント産業の  
廃棄物・副産物の使用量は、  
国内循環利用量の約10%に相当します。

## 廃棄物・副産物の利用

- ・石炭灰
- ・各種産業廃棄物
- ・都市ごみ
- ・上水  
など
- ・高炉スラグ
- ・建設発生土
- ・焼却残さ
- ・下水汚泥

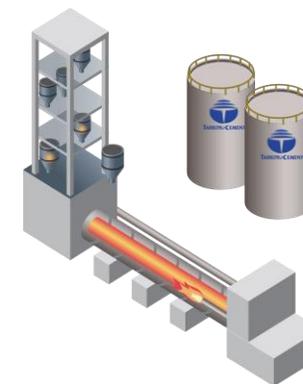
循環経済形成の  
キープレイヤー

当社グループでは、  
地域社会や他産業で発生する  
廃棄物・副産物を  
原燃料として使用し、  
リサイクル率40%以上の  
セメントを製造

## 社会インフラ・ 生活環境整備に利用

- ・道路
- ・橋梁
- ・学校
- ・ダム
- ・地下施設  
など
- ・鉄道
- ・トンネル
- ・病院
- ・堤防
- ・港湾
- ・住宅
- ・商業ビル
- ・護岸

国土強靱化のための  
重要資材供給



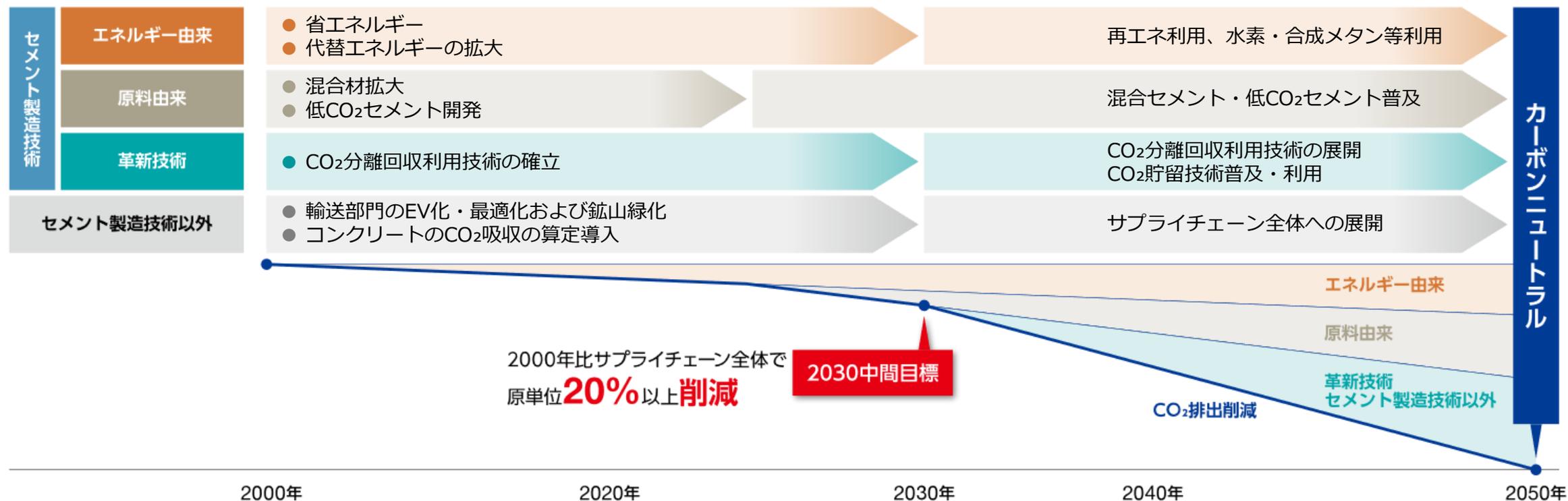
# カーボンニュートラル移行計画

セメント製造工程から排出されるCO<sub>2</sub>は、原料由来によるものが60%、エネルギー由来によるものが40%です。

2030年までに

- 既存技術によるエネルギー由来、原料由来のCO<sub>2</sub>削減の最大活用を完了
- 革新技術（CO<sub>2</sub>回収・CO<sub>2</sub>利用）の技術開発を完成

2050年に向けて革新技術を順次展開し、サプライチェーン全体のカーボンニュートラルを実現します。



# 外部評価

## FTSE Blossom Japan Sector Relative Index



## R&I

[2018年から連続してA-を取得]



## Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index (GenDi J)



## プラチナくるみん認定

[2023年8月に取得]



## MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数



## 健康経営優良法人認定制度

[2023年から連続して取得]



## S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数



## 人的資本経営品質2023

[2024年2月シルバーに選定]



## CDP

[サプライヤーエンゲージメント・リーダーに選定]  
[気候変動でA、水でBを取得]



## DBJ環境格付

[8回連続で最高ランク]



## JCR

[2020年から連続してAを取得]



# トピックス

2024年1月22日	「サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップ」に参画
2024年1月24日	「令和6年能登半島地震」の被災地・被災者への支援について
2024年1月30日	下水道革新的技術実証事業（B-DASHプロジェクト）「新たなリン回収システムによる下水道の資源化に関する実証事業」りん回収・肥料化施設の完成式を実施
2024年2月6日	環境先進的な取り組みと透明性により、CDP気候変動において「Aリスト」（最高評価）に2年連続で選定
2024年2月21日	「カーボンニュートラル技術開発プロジェクトチーム」を「カーボンニュートラル技術開発部」へ名称変更
2024年2月22日	人的資本調査2023にて「人的資本経営品質2023[シルバー]」に選定
2024年2月27日	代表取締役の異動等に関するお知らせ
2024年2月29日	「DBJ(株式会社日本政策投資銀行)環境格付」において8回連続で最高ランクの格付を取得
2024年3月6日	CDPによるサプライヤーエンゲージメント評価において、最高評価の「サプライヤーエンゲージメント・リーダー」に選定
2024年3月11日	「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に2年連続で認定
2024年3月21日	藤原工場におけるガスエンジン発電設備の新設について
2024年4月3日	CO2回収型セメント製造設備（C2SPキルン®）の実証試験を開始
2024年5月9日	セメント・セメント系固化材の販売価格改定

---

本資料に記載されている将来の見通しに関する内容につきましては、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づき判断したものであり、リスクや不確定要素を含んでいます。

従いまして、記載されている将来の予想数値を当社として確約あるいは保証するものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。



**TAIHEIYO CEMENT**